

2025年度 決算説明資料

2025年度決算概要および2026年度通期見通し

2026年5月26日

シンフォニア テクノロジー株式会社

証券コード6507

- ① 会社概要
- ② 2025年度決算概要
- ③ 2026年度通期見通し
- ④ シンフォニアテクノロジーの
半導体関連ビジネスと中長期計画の進捗

会社概要



- 創業 ▶ 1917年5月 (大正6年)
- 設立 ▶ 1949年8月 (昭和24年)
- 本社所在地 ▶ 東京都港区芝大門1-1-30芝タワー
- 資本金 ▶ 101億5,696万円
- 従業員 ▶ 連結3,729人
- 事業内容 ▶ 半導体搬送、航空、制御機器の開発・製造・販売
- 事業体制 ▶ 国内製造拠点3拠点 子会社11社
- 上場市場 ▶ 東証プライム市場 (証券コード：6507)

1878年～
鳥羽造船所

1917年～
鈴木商店
/神戸製鋼

1949年～
神鋼電機

2009年～
シンフォニア
テクノロジー

1878年 鳥羽造船所が創立。当社発祥

1917年 鳥羽造船所に電気係を組織。当社創業

1920年 帝国人造絹糸（現・帝人）の依頼でポットモーターの製作開始

1920年 航空機機上用風車式直流発電機を製作。航空機用電装品事業へ参入

1921年 神戸製鋼所鳥羽電機製作所となる

1949年 神戸製鋼所が三分割され、神鋼電機株式会社設立

1952年 東京証券取引所一部に上場

1981年 直流ダイナモメータを開発。自動車用試験装置事業に参入

1986年 H-Iロケットの油圧ポンプ用電動モーターを開発。宇宙分野に参入

1989年 半導体製造用縦型熱処理炉を納入。半導体製造装置事業に参入

1998年 300mmFOUP対応のLPを大手半導体製造装置メーカーへ納入

2009年 商号をシンフォニアテクノロジー株式会社に変更

2009年 300mmFOUP対応N2パージロードポートを開発

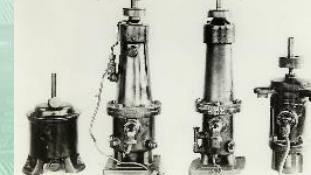
2017年 創業100年を迎える

創業当時の製品

船舶用発電機



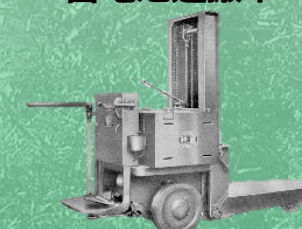
ポットモーター

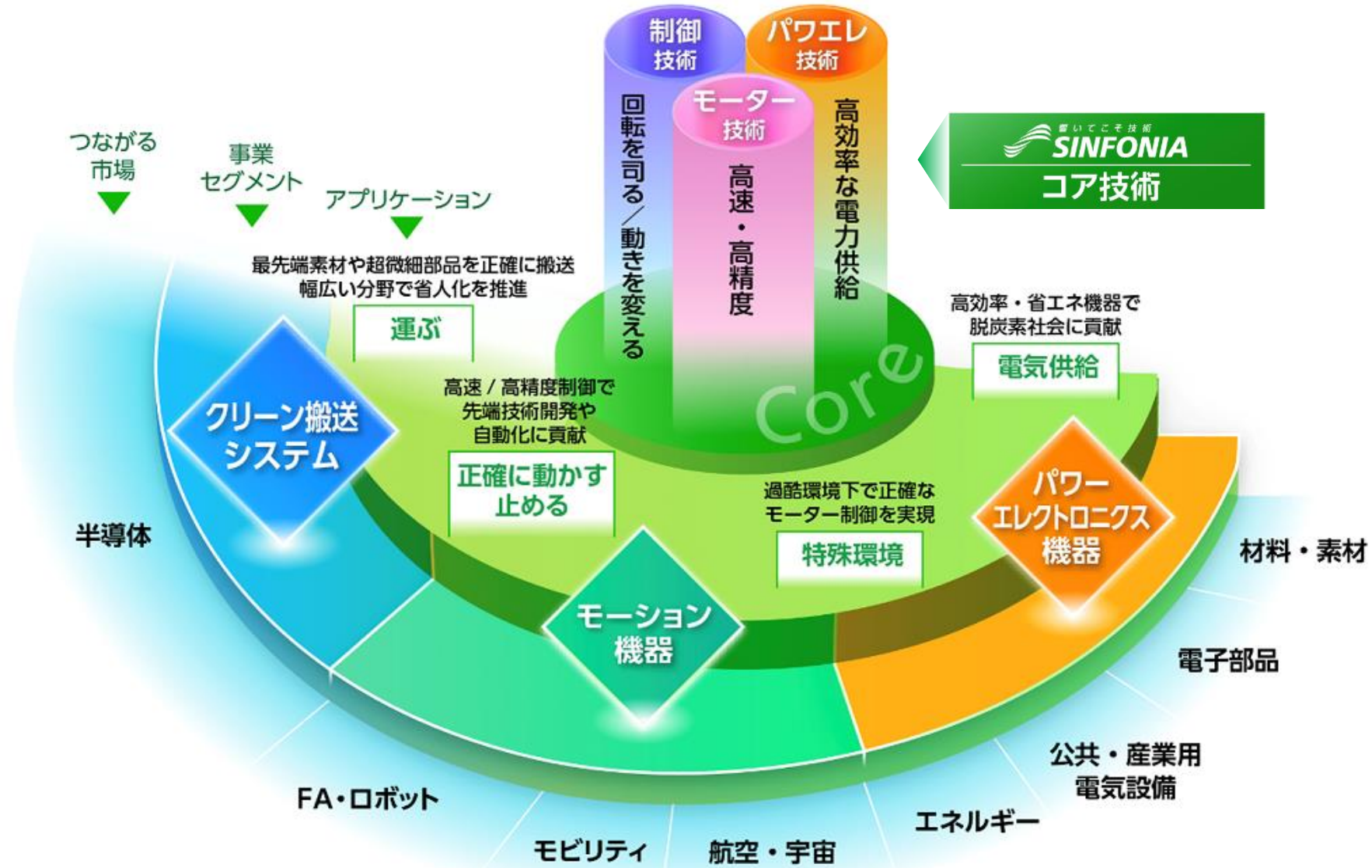


航空機用電装品



蓄電池運搬車





響いてこそ技術
SINFONIA
コア技術

伸ばす事業

売上比率
21.8%

クリーン搬送システム

関連市場：半導体



伸ばす事業

売上比率
19.0%

エンジニアリング&サービス

設置工事、アフターサービス



顧客満足度を向上させる事業

売上比率
39.6%

モーション機器

関連市場：FA/ロボット、航空/宇宙



パワーエレクトロニクス機器

関連市場：インフラ、エネルギー



安定させる事業

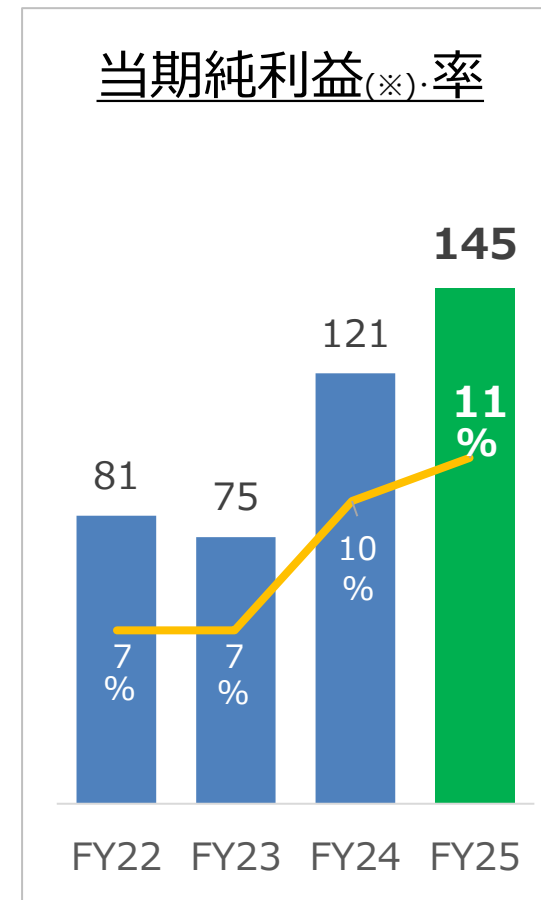
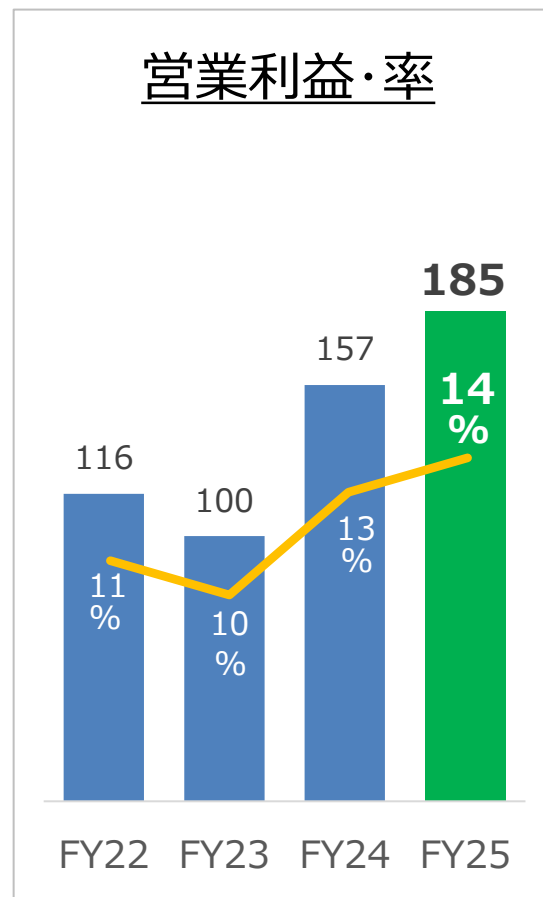
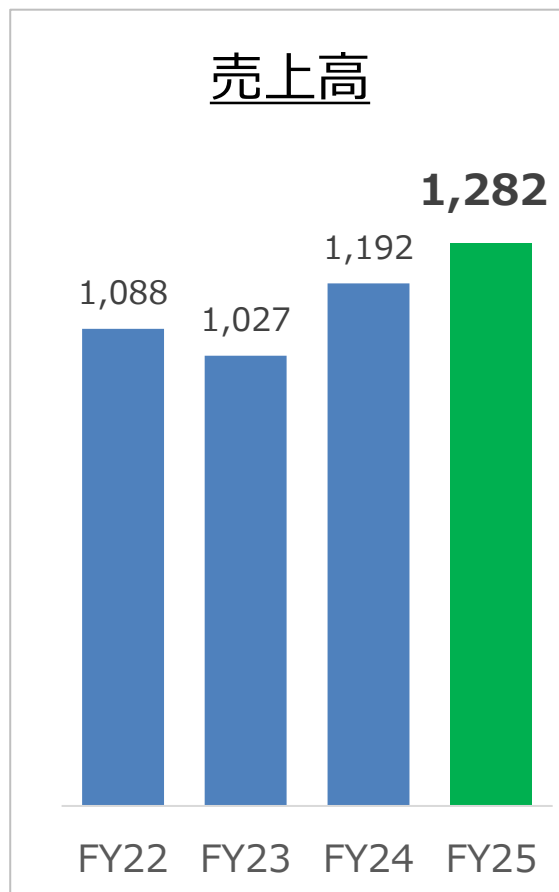
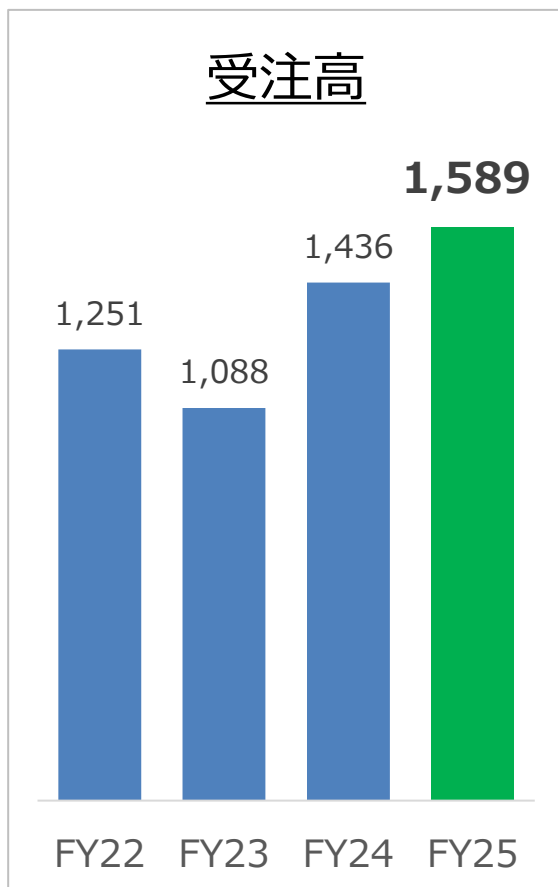
2025年度
売上高
1,282億円

売上比率
19.6%

2025年度決算概要

● 最高値を更新

(単位：億円)



(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)	24年度 実績	25年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	1,435.8	1,589.3	153.5	10.7%
受注残高	1,144.9	1,456.6	311.7	27.2%
売上高	1,191.5	1,282.0	90.5	7.6%
営業利益	157.3	184.6	27.3	17.4%
経常利益	159.4	187.9	28.5	17.9%
当期利益(※)	121.0	145.0	24.0	19.8%
研究開発費	36.8	41.6	4.8	13.0%
設備投資	37.5	98.4	60.9	162.4%

◆受注高、売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに過去最高値を更新

【受注高】

半導体関連分野の市場回復、エンジニアリング&サービスの伸張、航空宇宙事業も高水準を継続

【売上高】

豊富な受注を背景としたモーション機器、メモリ需要の回復に伴うクリーン搬送システムの増加

【設備投資】

航空宇宙の新工場建設に伴い、大幅増

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)	25年度予想		25年度 実績	対予想比	
	5/13予想	11/27予想		増減額	増減率
受注高	1,450	1,500	1,589.3	89.3	6.0%
売上高	1,250	1,250	1,282.0	32.0	2.6%
営業利益	165	165	184.6	19.6	11.9%
経常利益	165	165	187.9	22.9	13.9%
当期利益 (※)	113	113	145.0	32.0	28.3%

◆好調な市場環境を背景に、受注高、売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに予想を上回った

【受注高】
高水準を継続する航空宇宙事業やエンジニアリング&サービスの増による

【売上高】
クリーン搬送システムセグメントの増加による

【営業利益】
売上の増および潤沢な受注残に基づく効率的な生産による増

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

		24年度 実績	25年度 実績	前年同期比	
				増減額	増減率
(単位：億円)					
クリーン搬送 システム	受注高	261.0	285.9	24.9	9.5%
	売上高	251.4	280.3	28.9	11.5%
	営業利益	40.2	48.0	7.8	19.4%
	営業利益率 (%)	16.0%	17.1%	-	1.1Pt
モーション機器	受注高	664.8	660.0	△4.8	△0.7%
	売上高	433.3	507.3	74.0	17.1%
	営業利益	48.5	68.6	20.1	41.4%
	営業利益率 (%)	11.2%	13.5%	-	2.3Pt
パワー エレクトロニクス機器	受注高	268.8	295.4	26.6	9.9%
	売上高	262.7	250.9	△11.8	△4.5%
	営業利益	34.0	32.8	△1.2	△3.5%
	営業利益率 (%)	12.9%	13.1%	-	0.2Pt
エンジニアリング & サービス	受注高	241.3	348.0	106.7	44.2%
	売上高	244.0	243.5	△0.5	△0.2%
	営業利益	34.1	37.0	2.9	8.5%
	営業利益率 (%)	14.0%	15.2%	-	1.2Pt
計	受注高	1,435.8	1,589.3	153.5	10.7%
	売上高	1,191.5	1,282.0	90.5	7.6%
	営業利益	157.3	184.6	27.3	17.4%
	営業利益率 (%)	13.2%	14.4%	-	1.2Pt

2026年度通期見通し

(単位：億円)

2026年度 想定為替レート 1ドル = 145円	25年度 実績	26年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	1,589.3	1,700	110.7	7.0%
売上高	1,282.0	1,400	118.0	9.2%
営業利益	184.6	210	25.4	13.8%
経常利益	187.9	210	22.1	11.8%
当期利益^(※)	145.0	150	5.0	3.4%
研究開発費	41.6	66	24.4	58.7%
設備投資	98.4	96	△2.4	△2.4%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

【事業環境】

当社成長の要である半導体関連の市場回復

航空宇宙事業・エンジニアリング&サービスの
高水準な受注の継続

【主要施策】

旺盛な市場環境に対応する設備投資と
リソースの拡充

拡大市場での新商品開発

(単位：億円)

	25年度 実績	26年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	285.9	365	79.1	27.7%
売上高	280.3	330	49.7	17.7%
営業利益	48.0	60	12.0	25.0%
営業利益率	17.1%	18.2%	—	1.1Pt

【事業環境】

半導体業界は、好調なメモリー需要を背景とした増産投資が進む
中・後工程用製造装置の開発が進む

【実行アクション】

- ◆市場回復に伴う需要増に対応し、ロードポートをはじめとする現行機のシェアアップ
- ◆EFEM(システム品)、中・後工程の新規需要に向けた開発

(単位：億円)

	25年度 実績	26年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	660.0	665	5.0	0.8%
売上高	507.3	530	22.7	4.5%
営業利益	68.6	72	3.4	5.0%
営業利益率	13.5%	13.6%	-	0.1Pt

【事業環境】

- ・防衛力整備計画に基づく、需要増・担当領域拡大を継続
- ・FA関連は半導体市場の回復により、関連製品（モーター等ユニット品）の需要増

【実行アクション】

- ◆ 防衛関連の領域拡大開発、宇宙事業の衛星関連への拡大開発を進める
- ◆ 半導体関連市場への傾注継続、後工程向けAMRシステムの開拓
- ◆ 27年1月 航空宇宙事業の新工場稼働

(単位：億円)

	25年度 実績	26年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	295.4	320	24.6	8.3%
売上高	250.9	265	14.1	5.6%
営業利益	32.8	35	2.2	6.7%
営業利益率	13.1%	13.2%	-	0.1Pt

【事業環境】

エネルギー需要の多様化(水素・アンモニア)、多地域化(中東・北米・中央アジア)
公共インフラの堅調な更新需要の継続

【実行アクション】

- ◆ 電動化需要に伴う重電設備・試験設備の受注獲得
- ◆ 新素材を用いた、大電圧・高効率パワエレ技術の獲得

(単位：億円)

	25年度 実績	26年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	348.0	350	2.0	0.6%
売上高	243.5	275	31.5	12.9%
営業利益	37.0	43	6.0	16.2%
営業利益率	15.2%	15.6%	-	0.4Pt

【事業環境】

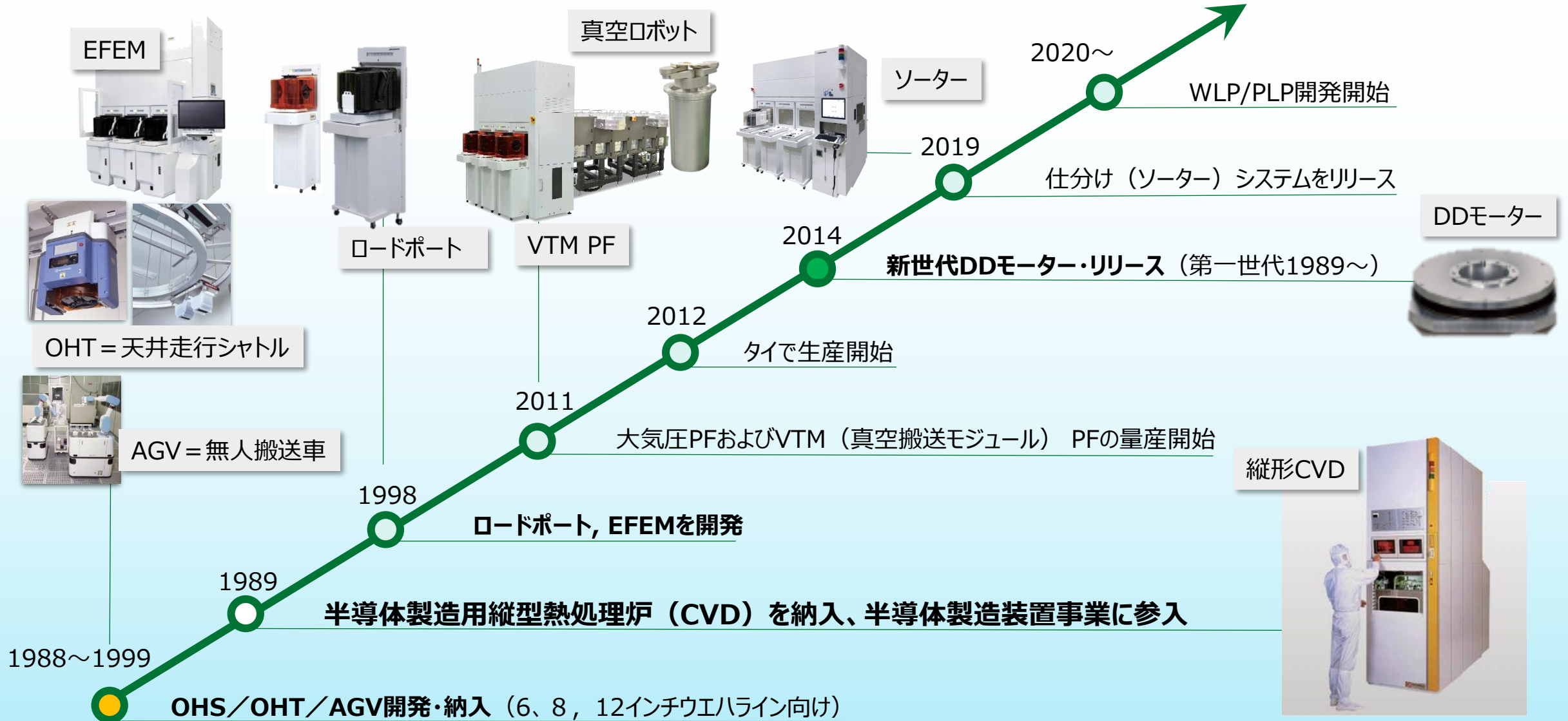
電気設備工事 受注増加

堅調な半導体製造工場向け搬送設備工事、電気工事需要

【実行アクション】

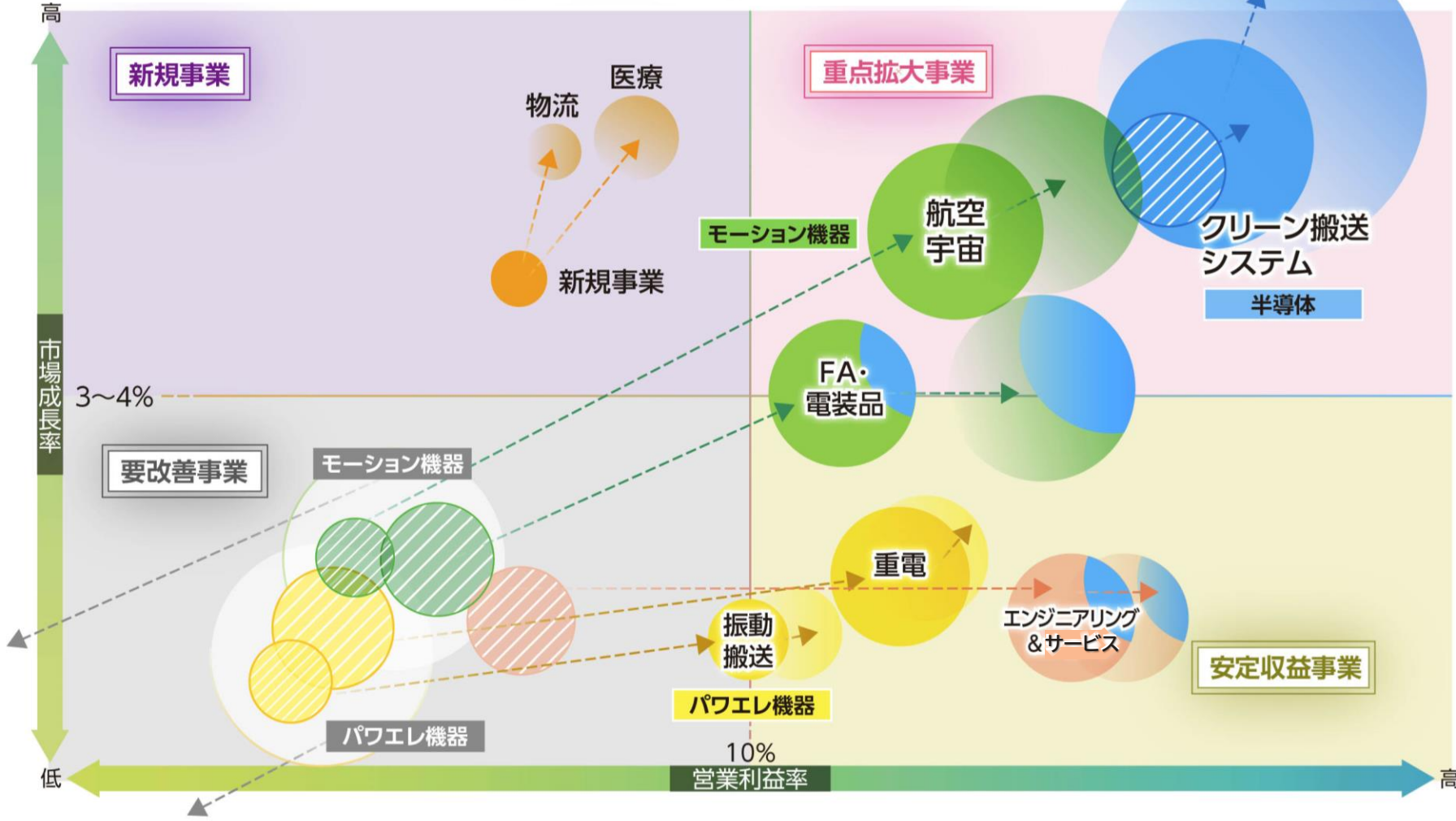
- ◆ 工期・工法・要員配置の工夫による豊富な受注残への対応
- ◆ 電気設備工事案件増加に対応したリソース強化策の実行

シンフォニアテクノロジーの半導体関連ビジネスと 中長期計画の進捗

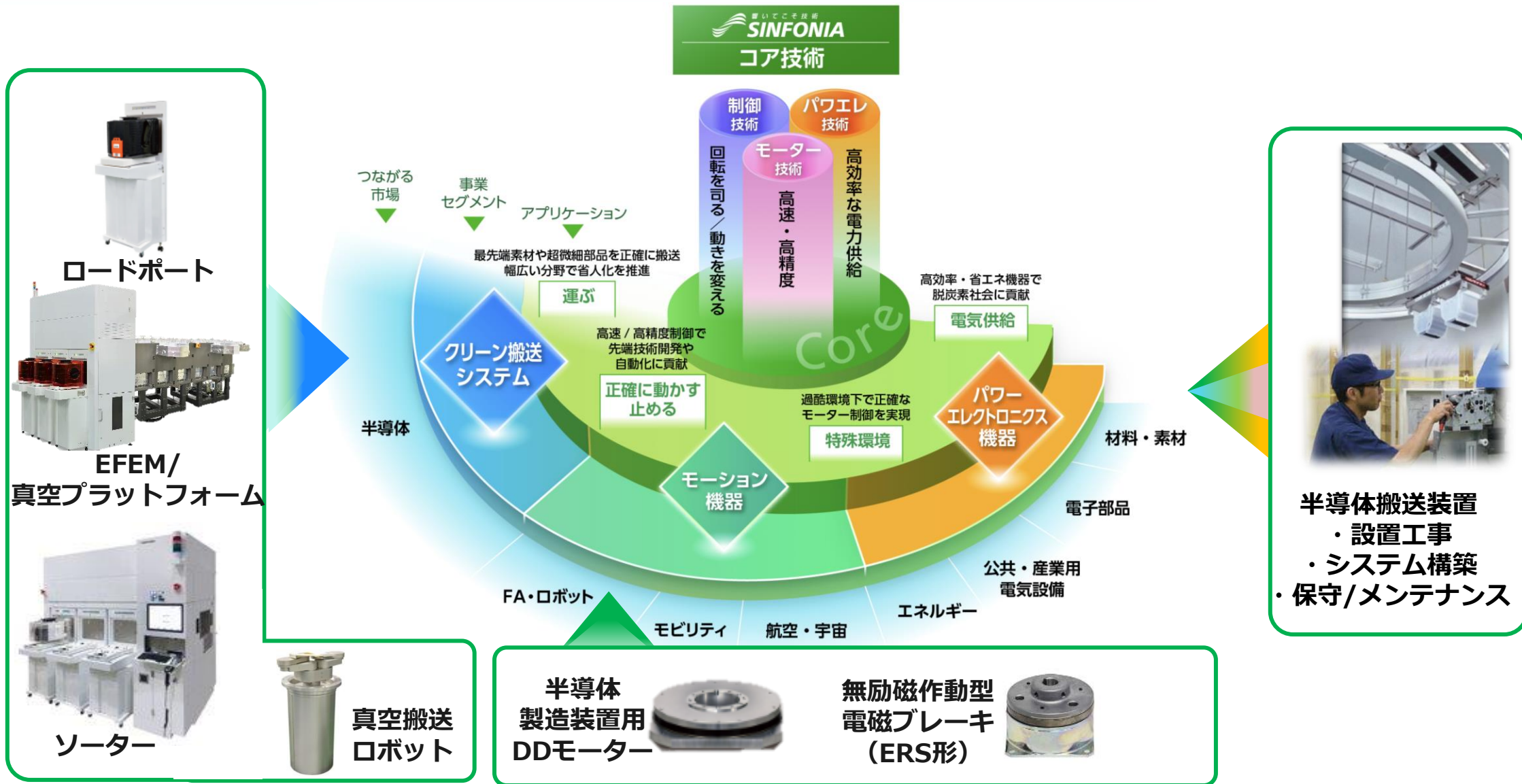


▶ 半導体関連事業 = 当社の成長をけん引する事業

事業拡大・ポートフォリオの変革図 (斜線) 前中期経営計画時 (黒) 2027年度(目標) (白) 2030年度(目標)



- 半導体**
(クリーン搬送システム / モーション機器 / エンジニアリング & サービス)
● 拡大事業として重点投資
- モーション機器**
 - 航空宇宙 ▶ 重点拡大事業
 - FA/電装品 ▶ 半導体関連を拡大し、安定収益事業へ
- パワエレ機器**
 - 重電 ▶ 当社の技術基盤事業 技術深化と不採算機種撤退で安定収益事業へ
 - 振動搬送 ▶ 安定収益事業へ
- エンジニアリング & サービス**
 - 顧客満足度向上のための事業だが 市場環境が好調のため収益源とする
- 新規事業**
 - 物流 / 再生医療など当社の保有技術を活用した新規市場へ



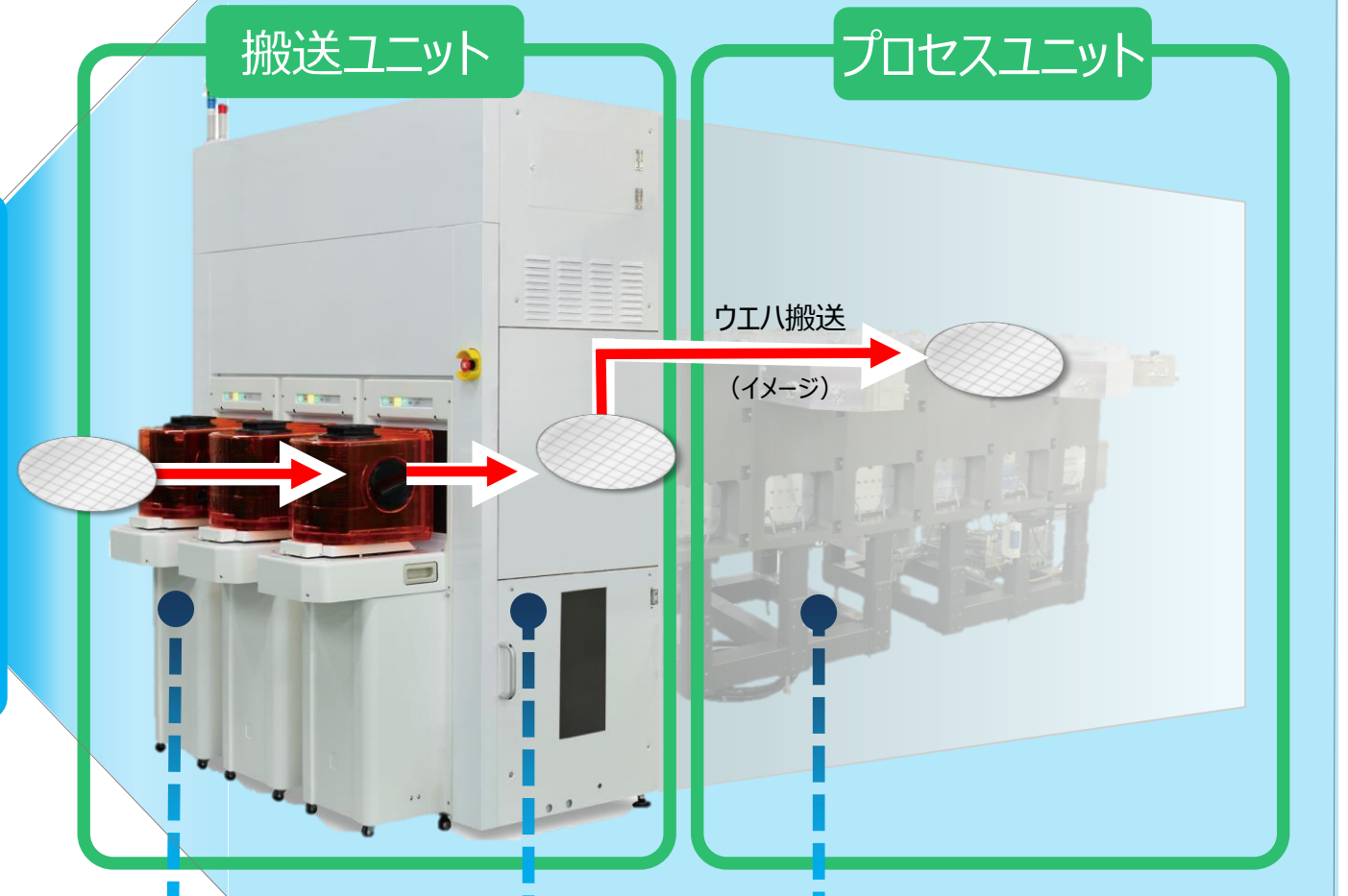
半導体製造工場（イメージ）



半導体製造装置

搬送ユニット

プロセスユニット



ロードポート

EFEM

真空ロボット等

クリーン搬送システムの製品

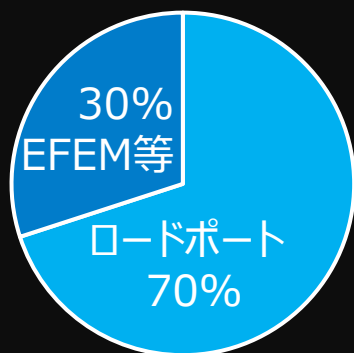
■ 搬送ユニット



■ プロセスユニット



■ 売上構成：2025年度実績



事業環境とセグメントの状況

事業構造

- ・半導体製造装置内のウェーハ搬送装置
- ・技術者不足によるSPE内作から外注への流れにより、市場成長率以上に伸びる構造
- ・WFEに連動、SEMI/WSTSなど参照

強み

- ・SPE売上上位15社中11社にLPを納入
- ・世界シェア50%超（LP）
- ・搬送装置のプロとして、SPE各社の要望に合わせたカスタマイズを実施

中長期計画の状況

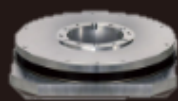
- ・LP：メモリー需要に伴う市況の回復
- ・EFEM：複数社からの引き合いに対応中
- ・600億までのキャパ確保済み

モーション機器セグメントの半導体関連製品

■ 製造装置用モーター等

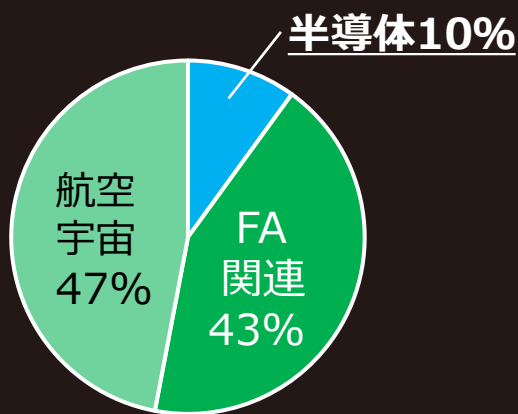


〈AMR〉



〈DDモーター：
ダイレクトドライブモーター〉

■ 売上構成：2025年度実績



事業環境とセグメントの状況

事業構造

- ・半導体製造装置内のモーター・電源等
- ・精密・小型・真空・防水等の特殊性能要求
- ・WFE・SEMIに連動

強み

- ・特殊形状を可能とする精密DDモーター
- ・特殊環境に対応できるパワエレ技術
- ・LP顧客網を活用した新規提案

中長期計画の状況

- ・DDモーター採用数の増加
- ・後工程向けAMRシステムの試作受注
- ・モーション機器セグメントの25%へ（長期）

エンジニアリング & サービスが提供する半導体関連サービス



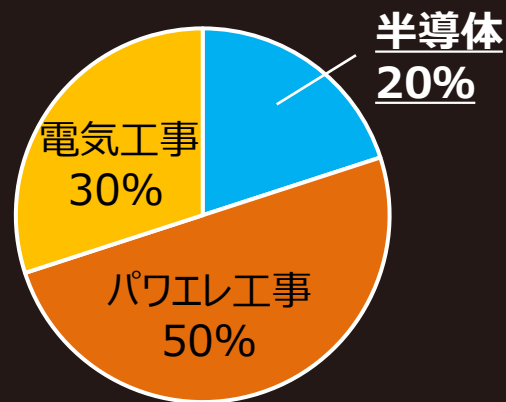
・天井搬送設置工事



・天井搬送ソフトウェア



■ 売上構成：2025年度実績



事業環境とセグメントの状況

事業構造

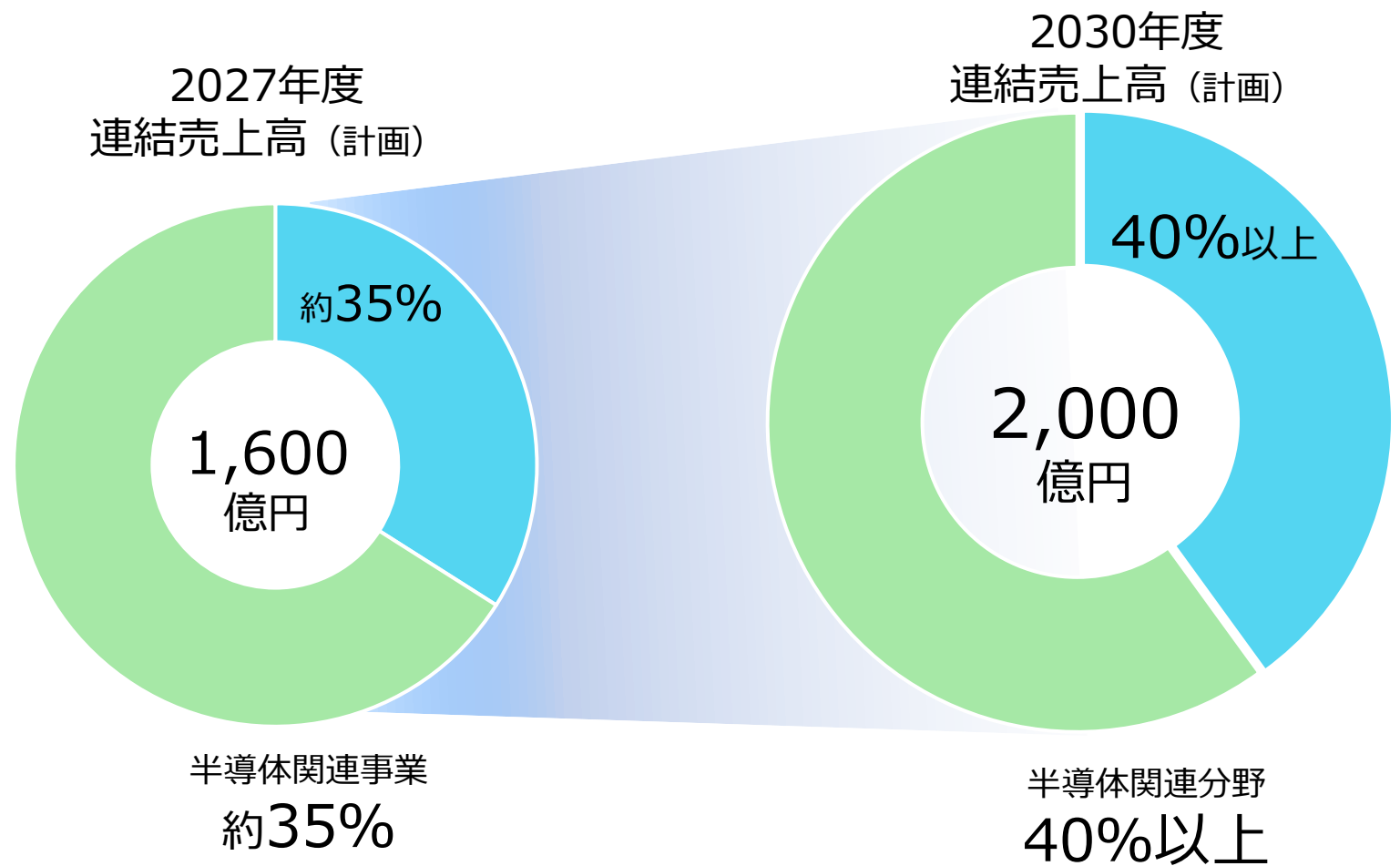
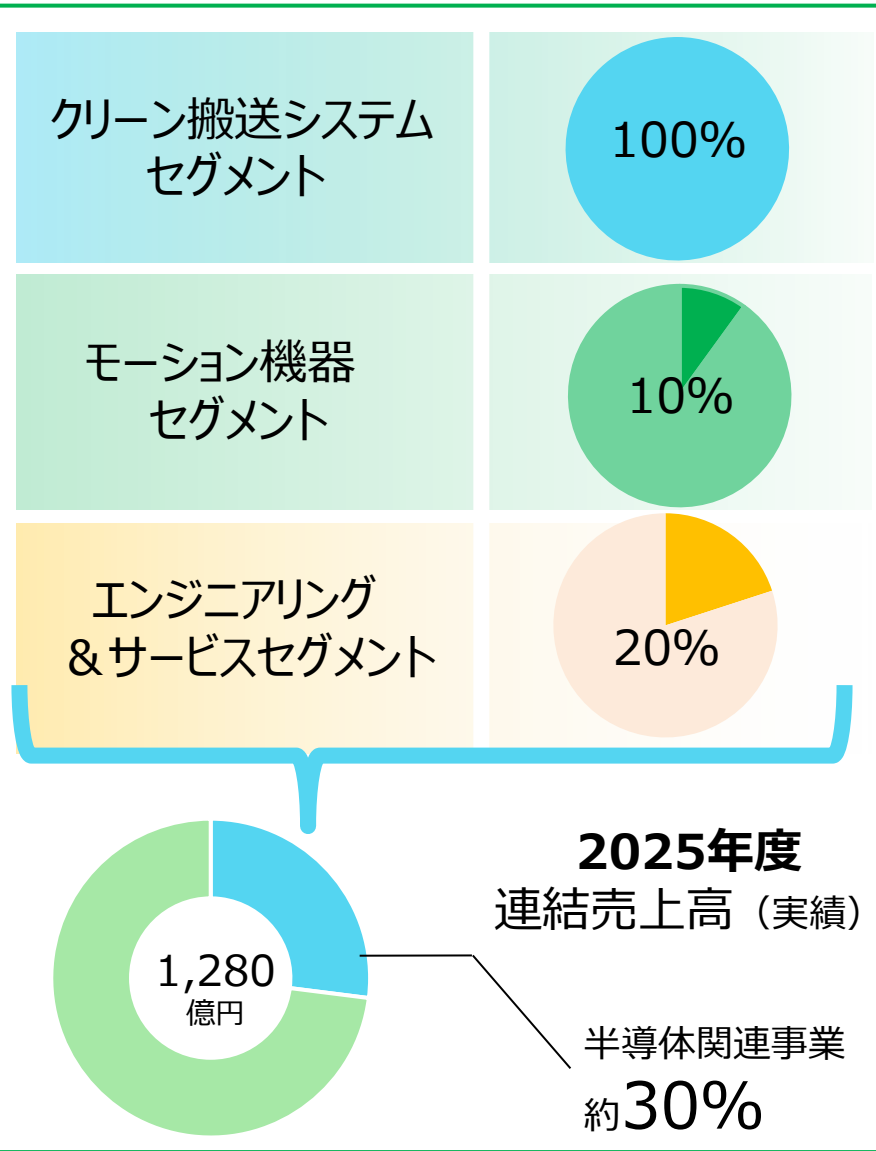
- ・天井搬送機器設置工事
- ・天井搬送ソフトウェア開発
- ・工場建設時・大規模ライン変更時に需要

強み

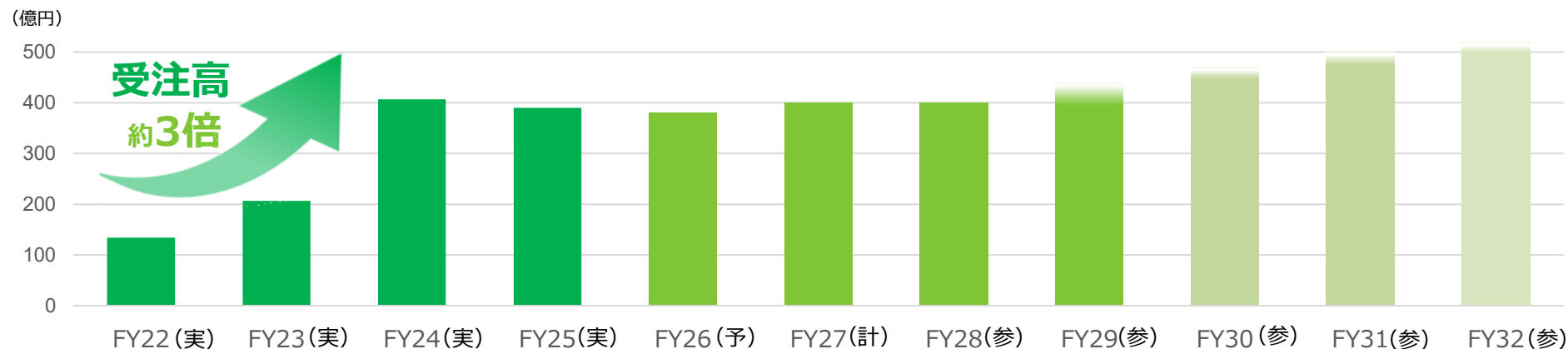
- ・元世界3位の天井搬送装置メーカー
- ・メーカーノウハウを持った
工事&ソフトウェア会社

中長期計画の状況

- ・メモリ需要に伴う工場新設・ライン変更増
- ・電気工事士不足による依頼増
- ・後工程搬送システムへの参入



国内唯一の防衛航空機用電源システムメーカーとして、電動化の波に対応



中・長期 さらに拡大

- ・スタンド・オフ防衛能力の強化
- ・機体製造後の保守点検
- ・航空機用付帯設備
- ・船舶・装備関連
- ・MRO（整備、修理、オーバーホール等）
- ・防衛装備品の海外輸出制限の緩和による新たな需要（MRO、装備等）
- ・民間航空機の電動化
- ・宇宙ビジネス（ロケット、衛星、輸送、探査）

—大綱—
国家防衛戦略
 ・防衛力整備計画
 ・防衛生産基盤強化法

現 5 年計画

- ・スタンドオフ防衛能力
- ・総合防空ミサイル防衛能力の強化
- ・無人アセット防衛能力の強化
- ・領域横断作戦能力の強化
- ・持続化・強靱化 等

次期 5 年計画以降 (想定)

- ・輸送用ドローンの開発、製造
 - ・無人機の開発、製造
 - ・マイクロ波防衛の開発
 - ・練習機の開発、製造
 - ・練習機配備
 - ・電源車/搬送車両
- 等

確実な成長

▶ 2030年の目指す姿「社会・顧客・自らに響く挑戦と成長企業への変革」実現に向け、
半導体関連事業・航空宇宙関連事業の2本柱と、エンジニアリング&サービスで事業規模拡大

* 連結売上に占める半導体関連分野の割合

売上高	2025年度 実績	(中計) 2027年度 計画	(長期) 2030年度 計画	25年度→30年度 増加率
連結売上高	1,280億円	1,600億円	2,000億円	約1.6倍
半導体関連事業	360億円 (約30%)*	550億円 (約35%)*	800億円 (40%)*	約2.2倍
航空宇宙関連事業	250億円	300億円	400億円	約1.6倍
エンジニアリング&サービス	670億円	750億円	800億円	約1.2倍
パワエレ機器事業				
FA関連事業				

- ・半導体関連事業：シェアを背景としたLP、引き合いの増えたEFEM関連で+300億円以上
DDモーターの駆動ユニットと後工程自動化で+150億円
- ・航空宇宙関連事業：既に2027年の受注は獲得済み、2030年に向け積み上げ中
- ・エンジニアリング&サービス：堅調な市場状況により工事受注が大きく伸びる

順調に推移しており長期計画の達成が見通せる状態

ご清聴ありがとうございました

本資料中の見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

シンフォニアテクノロジー株式会社 TEL : 03-5473-1805
経営企画部 FAX : 03-5473-1841

